

令和元年度 南関東・東京ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

地域に責任を持った活動の強化

災害に強いまちづくり ～地域をつなぐ保健師が目指す地域共生社会～

2. 目的

近年、頻繁に発生している自然災害に備え、社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえた地域共生による災害に強いまちづくりを目指し、保健師だからできる『つなぐ』力を発揮できるよう、地域に責任を持った活動の強化を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	6月15日(土) 10:00～12:00	千葉県船橋市勤労市民センター	【第1回支部長会議】 出席者 11名 1) 全国保健師長会理事会・拡大常任理事会等報告 2) 平成30年度南関東・東京ブロック活動報告 3) 令和元年度 南関東・東京ブロック活動計画及びブロック研修会について 4) 情報交換
2	9月29日(日) 10:00～15:30	TKP千葉駅東ロビジネスセンター	【ブロック研修会】 出席者 130名 1 全国保健師長会 40周年記念スライドショー上映 2 全国保健師長会活動について 副会長 堀田 彰恵 氏 3 調査研究班報告 福島県保健福祉部障がい福祉課 課長 遠藤 智子 氏 4 実践報告 1) 「横浜市防災計画への参画～災害時の保健活動の位置づけ～」 横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課 人材育成担当課 課長 飛田 千絵 氏 2) 「地域づくりフォーラム～わが事・丸ごと地域づくり～」 松戸市福祉長寿部 高齢者支援課 保健師長 長島 朋子 氏 5 講演 「災害に強いまちづくり ～地域をつなぐ保健師が目指す地域共生社会～」 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏 6 グループワーク 7 講評

4. 結果・課題

【第1回支部長会議】

- ・「2019年度全国保健師長会活動体系図」等により全国保健師長会の組織、今年度の活動方針及

び年間計画等、全体の活動概要を確認し、南関東・東京ブロックの活動として、近年の活動実績等を共有し、今年度の活動計画について検討した。

- ・ブロック研修会については、担当支部から災害に関するテーマを提案し、研修目的の共有を図った。また、松本氏(大阪市)による講演「災害時の保健活動の推進について - マニュアル改定に向けて -」(4月20日第1回理事会後開催)の復命により、災害時公衆衛生活動の目的や組織体制の構築、保健所と市町村の連携に関する準備状況等の報告を共有し、各自治体の活動の情報交換を行いながら研修企画を検討した。
- ・各支部の日頃の活動状況として、支部研修などについて情報交換し活動の参考にすることができた。また、市町村保健師の会員拡大のためのPRの必要性等を共有した。

【南関東・東京ブロック研修会】

- ・9月9日に発生した台風15号による影響で、千葉県東葛地域を除く県全域において長期化した停電が発生した。被災地域への支援が継続して行われている最中ではあったものの、災害をテーマとした研修企画であり関心が高いことから開催に至った。
- ・申込者数は予定を上回り、会場の混雑等があったが、講演会、自治体による実践報告、グループワークを通して、終了後のアンケートからも概ね満足度の高い研修となった。
- ・千葉大学大学院 宮崎教授の講演では、厚生労働省が基本コンセプトとする地域共生社会の実現に向けた改革が、これまでの保健師活動を後押しするものであること、また、これからますます「我が事」・「丸ごと」の理念に沿った活動を進めていくためのヒントをいただいた。災害時の二次的被害を想定し、健康を保持して復興復旧に向かうことへの着目点や問題意識を持ち続け、住民とともに真の問題に向き合っていくことの重要性を学んだ。
- ・実践報告では、横浜市の防災計画への参画により、保健活動を組織体制に組み込み実践している活動は、目指したい理想的な体制づくりとして大変参考になった。また、松戸市による、災害をテーマとした地域づくりフォーラムの実現は、住民とともに作り上げた地域力を上げる取り組みであり、共に活動していくことの素晴らしさを改めて感じた。
- ・グループワークでは、日頃の災害時保健活動に加え、このたびの長期化した停電による被災地支援を踏まえた情報交換が行われ、マニュアルがあっても判断が難しかった。要支援者名簿の管理が難しい等の課題も提起された。宮崎教授から、災害が起こるたびに新たな教訓が生まれること、また、日頃から地域で少しでも安心して暮らしていけるために、地域住民や関係者と問題を掘り下げ活動を継続していくことなど助言を頂いた。

5. 支部活動の特徴

- ・活動の紹介として「支部だより」を発行し、全国保健師長会ホームページの掲載サイトを活用し、広く周知するなど会員拡大に努めている。
- ・ブロック研修会は、会員に限らず未加入の市町村保健師や若手保健師などにも周知し、非会員も2割程度の申込みがあった。研修会終了後に、研修資料を各所属で活用したいとの要望を踏まえ、ホームページの「ブロック別活動報告」に研修資料を掲載した。

6. 委員・支部長

○理事	田中由佳	千葉県市川健康福祉センター 地域保健課
理事	御小柴 朋子	横浜市鶴見区役所 福祉保健センターこども家庭支援課
埼玉県	鈴木 洋子	埼玉県保健医療部 保健医療政策課
さいたま市	吉原 勝子	さいたま市保健福祉局保健所
千葉県	福田 浩子	千葉県市川健康福祉センター
千葉市	前嶋 祥子	千葉市保健福祉局 保健福祉総務課
東京都	早田 紀子	東京都多摩立川保健所
東京都特別区	木内 恵美	文京区保健衛生部 健康推進課
神奈川県	磯崎 夫美子	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター 保健予防課
川崎市	熊切 真奈美	川崎市幸区役所地域みまもり支援センター
横浜市	室山 孝子	横浜市健康安全部 保健事業課